

令和 6 年度放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修実施要領

1. 目的及び経緯

大学等における放射性同位元素の利用範囲の拡大や利用形態の多様化に伴い、放射線安全管理の徹底を図ることが益々重要となってきた。このため、大学等の放射性同位元素等取扱施設における放射線安全管理担当教職員に対し、実習を含めた最新の知識と情報を提供し、その資質向上を図り、もって教育・研究の進展及び施設周辺をも含めた放射線安全の確保を図ることを目的とする。

この研修は平成 15 年度までは、文部科学省と国立大学アイソトープ総合センターとの共催により開催されてきた。平成 16 年 4 月の国立大学法人化後、文部科学省との共催は終了したが、同研修の重要性に鑑み、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学の 5 大学に、平成 27 年度から北海道大学、九州大学を加えて 7 大学アイソトープ総合センターが研修実施担当校を持ち回りで開催することとした。

令和 6 年度は名古屋大学アイソトープ総合センターを会場として開催することとなり、同センターで受講申込を受け付ける。

2. 主催

北海道大学アイソトープ総合センター

東北大学先端量子ビーム科学研究センター

東京大学アイソトープ総合センター

名古屋大学アイソトープ総合センター

京都大学環境安全保健機構放射線管理部門

大阪大学放射線科学基盤機構附属ラジオアイソトープ総合センター

九州大学アイソトープ総合安全管理センター

3. 研修期間及び会場

期間：令和 6 年 10 月 28 日(月)、29 日(火)

会場：名古屋大学アイソトープ総合センターおよび野依学術交流館

4. 受講資格・対象

- (1) 各大学等の放射性同位元素等取扱施設において放射線安全管理担に携わっている教職員であること。
- (2) 受講申し込み時点までに所属機関で放射線業務従事者として登録されていること。
- (3) 放射線安全管理業務に就いて 5 年以内程度のかたを主な対象として非密封 RI の基本的な取扱実習をします。経験のある方も応募していただいて結構ですが、応募者が多い場合は、経験の浅いかたを優先します。

5. 受講定員

約 30 名

6. 申込み及び決定

(1) 申込み

各大学等（機関）の長は、希望者を別紙様式（1，2）により令和 6 年 8 月 30 日(金)（必着）までに、名古屋大学アイソトープ総合センター長に推薦すること。（2 名以上の場合は優先順位を付すこと）なお、希望者が不在の場合においては、別紙様式 1 の「事務連絡先」欄のみ記入し、その旨回答すること。

(2) 受講者の決定

名古屋大学アイソトープ総合センター長は、前項により推薦された者の中から、協議のうえ受講者を決定し、受講申込者の所属大学等（機関）の長に通知する。

7. 研修内容（仮）

(1) 講義と実習「非密封 RI 安全取扱のための基礎実習」

※「短寿命核供給プラットフォーム共催予定（大阪大学）」共催

(2) 特別講演

「名古屋大学における BNCT 基礎研究の現状（仮題）」

(3) 施設見学

名古屋大学工学部ダイナミトロン加速器およびアイソトープ総合センター

*実習で使用しますので、ノートパソコンをお持ちください。

詳細は後日お知らせします。

8. 経費

研修費（受講料）は無料とし、研修旅費は派遣する大学等（機関）の負担とする。

9. その他

各放射性同位元素等取扱施設における放射線安全管理担当職員については、一定期間毎に本研修を受講されるよう、ご配慮願います。

〈本件連絡・申込先〉

名古屋大学アイソトープ総合センター

〒464-8602 名古屋市千種区不老町

電話 : 052-789-2563（担当：前田）

FAX : 052-789-2567（事務室）

Mail : isotope@cc.nagoya-u.ac.jp